

令和6年度 飯塚市立二瀬中学校「生活のきまり」

1 「生活のきまり」の基本的な考え方

- 生徒一人ひとりの「人権や健康に配慮したきまり」であること
- 生徒一人ひとりの「自分で考え、判断し、行動した結果は自分で受け止めようとする力を育てるきまり」であること
- 守るではなく「考える」ことで生徒一人ひとりの「自律を促すきまり」であること

2 自律を促す3つの場面

中学校における「生活のきまり」とは次の3つの場面に適した姿になるよう生徒自ら（と保護者）が判断して、生徒が自律する力を育てるための手引きになることが望ましいと考えます。もちろん判断に迷ったときは学校に相談してください。一緒に考えていきましょう。

A 学習・部活動の場面

：教室内の座学、実技教科の活動、学校行事、部活動の練習など

B 儀式的行事・儀式の場面

：入学・卒業・始業・終業・修了式等の儀式的行事、冠婚葬祭など

C 対外的行事の場面

：体験学習、体験入学、入学試験、部活動の大会・練習試合、コンクールなど

以下の「生活のきまり」では主にAの場面で適した姿になるように守ってほしいことを示しています。また、B, Cの場面でも適した姿になるような「アドバイス」も示しています。

この「生活のきまり」は生徒・学校・社会の状況に応じて、生徒・保護者・教職員と一緒に毎年見直しをします。

3 頭髪などのきまり

頭髪については、自然な状態にしましょう。また、清潔感があり、勉強や運動などの活動の妨げにならないよう、学習に適した姿になるよう調髪しましょう。

(1) 前髪

- ・前髪は目にかからないようにしましょう。目にかかる場合はゴムでまとめたりピンでまとめたりしましょう。

(2) 横髪・後髪

- ・髪が肩につくくらいになったらゴムでまとめましょう。ゴムでまとめるときは体操帽子がきちんとかぶれるようにしましょう。

(3) その他

- ・髪を染めたり、色を抜いたり、パーマをかけたりしません。整髪料も使いません。
- ・特異な髪型（部分的に極端に短かったり長かったりする・極端に左右が非対称である・ラインを入れたり編み込みをしたりするなど）にはしません。
- ・眉の形や濃さが変わってしまうような整え方はせず、自然な状態にしましょう。

【アドバイス】

- ・BやCの場面では、ゴムやピンは目立たない色にしましょう。また、髪型や髪色、眉はより自然な状態にしましょう。

4 服装などのきまり

(1) 3年生の制服

①制服

- ・指定の販売店で購入した、上下ネーム入りの「標準服」を着用しましょう。
- ・学習の場に適した着こなしをしましょう。ボタンやホックを開けたり、袖を大きくまくったり、シャツの裾を出したりしません。
- ・夏服の下には必ず中着を着用し、派手でないものにしましょう。
- ・スカートの丈はひざが隠れる程度にしましょう。

②その他

- ・ピアスやネックレス、ブレスレットのような装飾品は身につけないようにしましょう。

【アドバイス】

- ・BやCの場面では、スラックスのベルト着用やデザインなど、セーラー服のネクタイの結び方などにも気を付けましょう。

(2) 1・2年生の制服

①ブレザー + スラックス

- ・指定の販売店で購入した、「標準服（ブレザー、スラックス、長袖ポロシャツ、半袖ポロシャツ）」を着用しましょう。

- ・学習の場に適した着こなしをしましょう。袖を大きくまくったり、ポロシャツのボタンを2つ以上開けたり、裾を出したりしません。
- ・校内では左胸ポケット（の位置）に名札を必ずつけましょう。
- ・「標準服」に似合うベルトを着用しましょう。
- ・入学式・卒業式・1学期始業式・2学期終業式、3学期始業式・修了式ではブレザーを着用しましょう。

②ブレザー + スカート

- ・指定の販売店で購入した、「標準服（ブレザー、スカート、長袖ポロシャツ、半袖ポロシャツ）」を着用しましょう。
- ・学習の場に適した着こなしをしましょう。袖を大きくまくったり、ポロシャツのボタンを2つ以上開けたり、裾を出したりしません。
- ・校内では左胸ポケット（の位置）に名札を必ずつけましょう。
- ・スカートの丈はひざが隠れる程度にしましょう。
- ・入学式・卒業式・1学期始業式・2学期終業式、3学期始業式・修了式ではブレザーを着用しましょう。

③その他

- ・ネクタイやリボンを着用する場合は、指定の販売店で購入したものを付けましょう。ネクタイやリボンの着用は、自己で判断しましょう。
- ・ネクタイやリボンを付ける際は、標準服（ブレザー、スラックス、スカート、長袖ポロシャツ、半袖ポロシャツ）のいずれかの組み合わせに、ネクタイもしくはリボンを合わせましょう。組み合わせ方については、自己で判断しましょう。
- ・ピアスやネックレス、ブレスレットのような装飾品は身につけないようにしましょう。

【アドバイス】

- ・BやCの場面では、ブレザーの上のボタン1つ、ポロシャツのボタンは全て止めるのが礼儀です。また、ネクタイやリボンの着脱は、自己で判断をしましょう。

5 その他のきまり

（1）防寒着・防寒具など

- ①コート、ウィンドブレーカー、マフラー、ネックウォーマー、ダウンジャケット、手袋は基本的には登下校時など校外で着用するので、C（対外的行事）の場面でも適したものを選びましょう。
- ②ストッキング、タイツ、レギンスは無地の黒色を着用しましょう。
- ③3年生 カーディガンは校舎内でも着用できますが、C（対外的行事）の場面でも適したものを選びましょう。
- ④1・2年生 ポロシャツの上に着用するVネックセーター、ベストは無地の黒色・白色・紺色を選びましょう。

【アドバイス】

- ・防寒着や防寒具は、室内に出入りする時に着脱するのがマナーです。

(2) 衣替えなど

- ①制服の移行期間、防寒着・防寒具の使用期間などは指定しないので保護者の方とも相談して気候や体調に応じた服装を選びましょう。

(3) 靴、靴下、かばん

- ①体育実技の授業や部活動にも対応したローカットのひも付き運動靴で通学しましょう。色やデザインなどの指定はありませんが、価格やC(対外的行事)の場面でも適しているかなどを保護者の方とも相談して選びましょう。
- ②校内では学年ごとに緑(1年生)、青(2年生)、黄(3年生)の上靴を、体育館では指定のシューズを履きましょう。
- ③靴下は白色、黒色、紺色の無地(ワンポイント可)で、ひざ下までのものを選びましょう。
- ④3年生 通学には学校指定のかばんもしくは、「学校推奨のバッグ」や「黒を基調とする配色のリュックタイプで両手が使える(メーカーのロゴやラインはできるだけ目立たない)バッグ」を使用しましょう。部活動で使用するバッグは各部で確認しましょう。
- ⑤1・2年生 通学には、「学校推奨のバッグ」か「黒を基調とする配色のリュックタイプで両手がかえる(メーカーのロゴやラインはできるだけ目立たない)バッグ」を使いましょう。部活動で使用するバッグは各部で確認しましょう。

【アドバイス】

- ・BやCの場面では、くるぶしが見えるようなスポーツソックスではなく、ふくらはぎまでかかる靴下を選ぶのが礼儀です。
- ・バッグにキーホルダーなどを付ける際は、カバンをロッカーに収納した時に邪魔にならない物にしましょう。また、BやCの場面では、持ち物についても華美でないものを選ぶのがマナーです。その観点から、バッグにキーホルダーなどを付けることについては、その場に適しているかどうかを判断しましょう。